

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<研究課題名>

強皮症における心臓病変の解析研究：心臓 MRI によるアプローチ

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 血液膠原病内科 (研究責任者) 杉山 海太

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2017 年 3 月 31 日

<研究の目的と意義>

強皮症は、手指から始まる皮膚硬化が次第に全身に及び、舌小帯の短縮、食道や肺など内臓諸臓器の線維化を特徴とする原因不明で進行性の膠原病です。強皮症の死因の約 3 割は心臓病変によるとの報告があり、強皮症の心臓病変は予後に大きく関わります。また心臓病変があっても動悸や胸痛といった心症状を現しにくいとされています。近年心臓 MRI の進歩は極めて急速であり、非侵襲的に心臓病変を検出してその程度を定量化できるようになりました。心臓 MRI は様々な病態の心臓病変を高い検出能で診断可能で、その性状や程度の診断が非侵襲的かつ的確に評価可能であり、強皮症の予後を大きく規定する心臓病変を心症状が発現する前に早期に捉えることは、重要です。本研究は心臓 MRI を用いて、強皮症患者における心症状のない心臓病変の真の頻度が明らかにすることを目的に行います。小林、横江、両先生が板橋中央総合病院に在籍中に主治医としてデータ管理していた患者を、日本大学医学部附属板橋病院血液膠原病内科で後ろ向き研究としてアプローチする。

<対象となる患者さん>

板橋中央総合病院リウマチ科で西暦 2012 年 12 月から西暦 2015 年 4 月の期間に強皮症の診断で通院しており、心臓 MRI を行った患者を対象とする。

<研究の方法>

強皮症の患者さんの中で心症状のない患者さんを対象に心臓の MRI を行い、強皮症の心病変の頻度、病態を明らかにする。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

血液膠原病内科 氏名:杉山 海太

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2402 (PHS)8032